

2024年9月5日

報道各位

リサイクル漁網を用いた養殖生簀の販売を開始しました

ニチモウは経営方針に掲げる「浜から食卓までを網羅し繋ぐ」を具現化するため、環境に配慮した養殖事業のトータルコーディネートを推進しております。

そのなかでもグループ会社である㈱ニチモウマリカルチャーと共同でポリエチレン製リサイクル漁網を用いた養殖生簀網（以下、リサイクル生簀網）を開発し、販売を開始いたしました。本リサイクル生簀網は、回収したポリエチレン製廃棄漁網から製造したリペレット樹脂を10～15%配合して編網しております。リサイクル生簀網を使用することでCO₂排出量を約15%¹⁾削減することができ、サステナブル社会の実現へ大きく貢献できます。

現在、宮城県石巻市および岩手県久慈市の生産者グループの一部にリサイクル生簀網を導入いたしました。従来品と比較して遜色ない使用感、強度と評価いただいております。

今期、宮城の養殖ギンザケ事業では生産者増員、久慈の養殖事業ではギンザケに加えてトラウトサーモンの生産開始など事業拡大を図っており、更なる安定的な生産体制を構築しつつ、リサイクル生簀網の導入件数増加を進めております。また、環境保全について現場作業員の意識向上、販売企業としての管理体制の強化を目的として、同じリサイクルポリエチレン素材を使用した看板を生簀網に設置いたします。



リサイクル生簀網に設置する看板のデザイン

久慈市のリサイクル生簀網

今後ともニチモウグループは環境に配慮した持続可能な漁具資材の開発・供給を進め、『浜から食卓までを網羅し繋ぐ』を合言葉に、漁業の発展に貢献することを通じて、ステークホルダーのみなさまの豊かで健康な生活づくりに貢献できる企業を目指してまいります。

以上

【引用】

1)LCI データベース IDEAversion3.1.0(2021/07/15) 国立研究開発法人産業技術総合研究所安全科学研究部門 IDEA ラボ

1)環境省廃棄物・リサイクル対策部企画課循環型社会推進室、3R 原単位の算出方法

1)国立大学法人大阪大学、令和2年3月、令和元年度〈脱炭素社会を支えるプラスチック等資源循環システム構築実証事業〉委託業務成果報告書